

## 5月定例記者会見の概要

1. 日 時 平成30年5月7日(月) 9時30分～10時20分

2. 場 所 本庁舎3階 第一会議室

3. 出席者 <報道機関>

- ①朝日新聞社南相馬支局 (南相馬記者クラブ会員)
- ②河北新報社相馬支局 (南相馬記者クラブ会員)
- ③共同通信社 福島支局 (南相馬記者クラブ会員)
- ④毎日新聞社南相馬通信部 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑤福島民報社南相馬支社 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑥福島民友新聞社相双支社 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑦みなみそうまチャンネル

計 7 社

< 市側 >

- ①市長 ②林副市長 ③松浦副市長 ④教育長
- ⑤総務部長 ⑥復興企画部長 ⑦市民生活部長
- ⑧健康福祉部長 ⑨健康福祉部理事 ⑩経済部長 ⑪建設部長
- ⑫総合病院事務部長 ⑬小高病院事務部長
- ⑭小高区役所長 ⑮鹿島区役所長 ⑯教育委員会事務局長

計 16 人

(司会進行) 秘書課長  
(会議記録) 秘書課広報係

### 【市政報告】

皆さんおはようございます。

ゴールデンウィーク前半の4月29日には、春の市民祭りが駅前通りと旭公園を会場に行われました。天候にも恵まれ、大勢の市民に祭りを楽しんでいただけたと思います。

農繁期に入り田植え作業がピークを迎えています。今年の作付面積は市全体で約2,500haとなり、昨年より作付けが約300ha増加する予定です。

田植えに関連し、5月12日(土)には、地酒「御本陣」の原料となる酒米「ゆめ かおり夢の香」の田植え体験イベントが、一般参加者を募り開催されます。まだ、定員に余裕があるので、手植えでの田植え体験をしていただければと思います。

また、小高区の有機農家・根本洗一さんが生産した酒米「おまち雄町」を使って仕込ん

だ日本酒も、県内の酒蔵によって「おだやか雄町純米吟醸」として誕生しています。  
御本陣とおだやか。どちらも南相馬ゆかりの清酒として、広く親しんでもらえる銘柄になってもらえれば幸いです。

さて、6月10日開催の第69回全国植樹祭の開催まで残り34日となりました。

去る4月17日には、全国植樹祭のシンボルである木製地球儀の引き継ぎ式が市役所で行われ、全国植樹祭への機運を大いに高めてくれました。本日まで1階ロビーに展示しており、5月8日(火)からは鹿島区、5月23日(水)から6月6日(水)まで小高区で展示される予定です。

全国植樹祭には、市独自の取り組みにより、おもてなしの心でお客様を歓迎します。まず、5月20日(日)に実施する春のクリーンデーにおいては、私や副市長も参加して市内の美化に努めます。

また、全国植樹祭当日には、式典会場に行くことができない多くの市民にも、全国植樹祭の会場内の様子をご覧いただけるように、ゆめはっとと、鹿島生涯学習センターの2か所に、市がサテライト会場を設置し、式典会場の中継放送を行います。

旧避難指示区域内の住民登録人口と居住人口の推移について、旧避難指示区域内の居住人口が、3月31日時点で3,074人となり、居住率は33.4%となりました。

平成28年7月11日の制限解除から20カ月が経過し、居住人口が3,000人を超えました。今後も、居住人口が増えるように努めてまいります。

#### ネクスト コモンズ ラボ

先日、4月20日にはNext Commons Lab南相馬の発足式が行われ、起業型地域おこし協力隊3名へ委嘱状交付を行いました。

今後は、地域協力隊の3名がコーディネーターとなり、(株)小高ワーカーズベースと協働しながら南相馬で起業する新たな種を見出す活動を行ってまいります。

また、小高区復興拠点施設の整備に関しては、福島相双復興推進機構(福島相双復興官民合同チーム)を通じて、(株)船井総合研究所による専門家支援を受ける運びとなりました。今後、専門家による支援を受けながら、より良い形で施設の運営や開所に向けて整備を進めてまいります。

行政経営方針に掲げる3つの最重点方針「復興の更なる推進」「旧避難指示区域内の再生」「生産年齢人口の拡大」に基づき施策を推進し、ひいては家族や友人とともに暮らせる100年のまちづくりの礎を築いてまいります。

私からの報告は以上です。各部長による報告のあと、皆さんからのご質問をお受けいたします。

### 【各部からの報告】

#### ◆復興企画部

- ・静岡県南伊豆町及び山梨県忍野村との災害時相互援助協定について

#### ◆市民生活部

- ・春のクリーンデーの実施について

#### ◆健康福祉部

- ・市地域医療提供体制整備事業補助金の公募について
- ・みなみそうま健康づくりポイント事業について

#### ◆経済部

- ・地酒「御本陣」酒米田植え体験イベントの実施について
- ・第 69 回全国植樹祭における市内サテライト会場の設置について
- ・第 2 回千葉氏サミット相馬野馬追公演について
- ◆教育委員会事務局
- ・西迫横穴墓群発掘調査現地説明会の開催について

## 【質疑応答】

### 質問 1 :

西迫横穴墓群について、当日は遺跡の中まで入ることができますか。また出土品も公開されますか。

### 回答 1 : 教育委員会事務局長

遺跡の中に入って見学ができます。ただし、岩肌を直接触れることはご遠慮いただきます。横穴は傾斜地に面しているため、足場を組んで安全な形で見学できるようにしています。穴は狭いのですが、中に入ることもできますし、中で写真を撮ることも可能です。現地の係員の指示に従っていただければと思います。出土品に関しても当日現場で公開し、専門員による解説も行います。

### 質問 2 :

水稻の作付けについて、2,500ha の内、食用米の作付けはどの程度で、2010 年の水準に比べてどの程度回復したのでしょうか？

### 回答 2 : 経済部長

手持ち資料がありませんので、後ほど報告します。

## 回答

- ・平成 30 年度の水稲作付面積 2,500ha の内訳  
食用米約 1,000ha、非主食用米約 1,500ha。
- ・2010 年は食用米が約 4,800ha、非主食用米の作付けが約 220ha 合計 5,020ha。  
震災前に比べ全体で 5 割程度の回復。

### 質問 3 :

旧避難指示区域内の住民登録人口と居住人口について、居住人口の定義を教えてください。

### 回答 3 : 復興企画部長

避難先から戻られた場合には、市へ届け出をしてもらうこととなっており、その届出件数をカウントしたものです。

### 質問 4 :

居住人口が 3,000 人を超えた理由にどういった施策があげられますか。

### 回答 4 : 市長

様々な施策の歯車が噛み合い、戻りたいと考えていた人が戻れると判断し 3,000 人を超えたものだと思います。小・中学校の再開や、高校の開校によって町な

かで学生の姿を見ることができるだけで、穏やかな気持ちになれるとの声も伺いました。

診療所の再開などの医療体制の整備や、年末にオープンする予定の商業施設の建設、人が集まる場所となる復興拠点施設の整備などが、今後帰還を予定する方に発信していきたい情報となります。

地道ですが、地域からの要望に対応し、解決していくことが大事なことだと思います。

**質問 5 :**

市地域医療提供体制整備事業補助金の公募について、耳鼻咽喉科、泌尿器科が追加公募されましたが、その分野の医師が不足しているということでしょうか。

**回答 5 : 健康福祉部理事**

今回耳鼻咽喉科と泌尿器科を公募に追加した経過は、相馬郡医師会の常任理事会より、特にこの2科を加えるべきとの意見があったことからです。

**質問 6 :**

プレミアム付き商品券について、昨年約9万冊の販売に対し、今年は10万5千冊販売するとのことで、増刷した理由や売り残さない対策などをお聞かせください。

**回答 6 : 経済部長**

前年は周知期間が短かったため、本年度は十分な周知期間を以て対応します。

また、商品券の申込期間や、引き換え期間も前年に比べ期間を長く取っています。また、対象者に対し申込書を送ることとしており、簡易な方法での申込によって、簡単に手続きできるよう工夫しています。

**質問 7 :**

地酒「御本陣」について、作付けが前年と同様なので、生産も同量ということではよろしいでしょうか。また、売れ行きはいかがですか。

**回答 7 : 経済部長**

作付面積が、昨年同様 1.3ha ですので、天候の影響もあると思いますが、同量の生産量を見込んでいます。

売れ行きも好調ですが、平成28年と比べると倍の生産をしていますので、販路拡大にも取り組んでいます。福島市「コラッセふくしま」と、富岡町物産販売施設「さくらステーション KINONE」では、4月から店頭での取り扱いを開始し、東京都内にある福島県の物産販売施設「日本橋ふくしま館-MIDETTE(ミデッテ)」に置いてもらえるよう現在交渉中です。

また、6月10日全国植樹祭へお越しになるお客様の一部には、お土産として贈呈します。また、会場にブースを設け、販売促進につなげます。

**質問 8 :**

市が設置する植樹祭のサテライト会場は、市民以外の方も自由に入場できるのでしょうか。

**回答 8 : 経済部長**

サテライト会場の入場はどなたでも自由です。

**質問 9 :**

水稻の作付けが増大したことについて、市長の所感をお聞かせください。

**回答 9 : 市長**

作付面積が回復したことについて、嬉しく思います。今朝も登庁の際に、水田を眺めながら、昨年より作付けが進んでいる実感を得たところです。一方で、大区画圃場整備事業が進んでおり、事業が完了すればさらに回復が進むでしょうし、小高区もすべての農地が作付けできるわけではないので、今年度の作付け予定面積には納得しています。

**質問 10 :**

西迫横穴墓群について、資料には地域間のネットワークが存在すると記載がありますが、こういったものが想定されるのでしょうか。また、22 基の古墳が発見されることは珍しいのでしょうか。

**回答 10 : 教育委員会事務局長**

地域間のネットワークに関しては、現在推測の状況です。今後、考察などから学会などで詳しく検討されることと思います。

これだけの大規模な墓群が発見されることは、非常に珍しいことです。こういった墓群は、勢力を保有していた一族がこの地に住んでいた証しであると考えられます。

**質問 11 :**

全国植樹祭の開催まで約 1 カ月となりましたが、植樹祭の事業進捗や市長の所感をお聞かせください。

**回答 11 : 市長**

天皇皇后両陛下並びに全国からお越しになるお客様へ、南相馬のありのままの復興の状況をご覧いただきたいと思っています。これまでの復興支援に対し、御礼の意を込めて歓迎したいと考えています。

今後、県から発表される日程などに基つき、市一丸となってお迎えする体制づくりを整えていきたいと考えています。

**司会**

先程、市政報告の中で触れた仁井田本家「おだやか 雄町純米吟醸」が手元にありますので、市長より紹介いたします。

**市長**

「おだやか雄町純米吟醸」は、小高区の根本洗一さんが育てた酒米を使い、農業復興の独自の取り組みとしてチャレンジされました。今年の生産量は、2,000 本で手に入りにくいのですが、記者の皆さんへ是非紹介させていただきたいと思い入りました。

おわり